

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年8月3日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	27 週	28 週	29 週	30 週	警報レベル	注意レベル	
	7月3日 ~ 7月9日	7月10日 ~ 7月16日	7月17日 ~ 7月23日	7月24日 ~ 7月30日	開始基準値	収束基準値	基準値
水痘	0	0	0	0	2	1	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
感染性胃腸炎	4 2.00	14 7.00	4 2.00	5 2.50	20	12	-
手足口病	14 7.00	16 8.00	15 7.50	18 9.00	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	1 0.50	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	13 6.50	20 10.00	20 10.00	10 5.00	6	2	-
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	19 6.33	46 15.33	32 10.67	59 19.67	-	-	-
咽頭結膜熱	0	1 0.50	3 1.50	0	3	1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	○	-
備考	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所から

【全数報告疾病】

3類:腸管出血性大腸菌感染症 女性1名
※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- ・新型コロナウイルス感染症は前週より9.00名増加し19.67名です。
- ・感染性胃腸炎は前週より0.50名増加し2.50名です。
- ・手足口病は前週より1.50名増加し9.00名となり、「警報レベル」継続中です。
- ・ヘルパンギーナは前週より5.00名減少し5.00名となり、「警報レベル」を脱しました。

【集団発生情報】

障害者通所施設並びに保育施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。PPE等の必要物品の在庫確認・補充、平時からの感染対策(手洗い、手指消毒、換気、PPE着用等)及び陽性者発生後のゾーニングについて再確認しましょう。

【感染症コラム ~ツツガムシ病~】

- ・ダニの一種であるツツガムシに刺されることで、ダニの保有する細菌(リケッチア)に感染して発症する病気です。発熱、特徴的な刺口、発疹は主要3徴候と呼ばれ90%の患者にみられ、診断の手がかりとなります。
- ・以前は夏季に東北の河川敷で感染していましたが、今はほぼ全国で見られます。
- ・主な症状は、高熱、発疹、倦怠感、頭痛、目の充血、リンパ節の腫れなどで、感染すると5~14日ほどの潜伏期間を経て発症し、毎年数例の死亡例もあり、早期の診断と治療が必要です。
- ・一般的には血液検査にて診断します。
- ・リケッチアに有効な抗生剤で治療します。
- ・予防に有効なワクチンはなく、ダニの吸着を防ぐ服装や、作業後には入浴し吸着したダニを洗い流す等が大事です。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>